

原議保存期間	1年(平成26年11月30日まで)
有効期間	二種(平成26年11月20日まで)

各管区警察局広域調整担当部長
警視庁交通部長 殿
各道府県警察(方面)本部長

警察庁丁交企発第151号、丁交指発第166号
平成25年11月21日
警察庁交通局交通企画課長
警察庁交通局交通指導課長

後部座席をはじめとするシートベルトの着用及びチャイルドシートの使用徹底対策の強化について(通達)

本年10月に一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という。)と警察庁が合同で実施したシートベルト着用状況全国調査の結果、運転席及び助手席の着用率はともに90%台であったが、後部座席の着用率は一般道路で35.1%(前年比+1.9ポイント)、高速道路等で68.2%(同+2.8ポイント)と、ほぼ昨年と同等の低水準であった。(別紙1)

これまでも後部座席のシートベルト着用対策については、様々な取組がなされてきたところであるが、その着用率は後部座席シートベルトの着用義務化後の平成20年調査時に一定の上昇が見られたものの、以後ほぼ同水準で推移しており、未だ定着化に至っていない状況にある。(別紙2)

また、チャイルドシートの使用率についても、本年4月に実施したJAFとの合同調査の結果、年齢層の上昇に伴って極端な減少傾向(1歳未満:81.2%、1~4歳:62.1%、5歳:38.1%)を示し、さらに適切な取付割合は約4割、適切な着座割合は約6割にとどまり、未だにその必要性和正しい使用方法が十分に理解されていない状況である。

シートベルト非着用者の致死率は着用者の約1.4倍(平成24年中)であるなど、シートベルト非着用及びチャイルドシート不使用がもたらす危険性は交通事故統計結果(別紙3)からも明らかであり、今後の交通死亡事故抑止対策を進める上では、後部座席をはじめとしたシートベルトの着用及びチャイルドシートの使用徹底対策をより強化し、シートベルト非着用及びチャイルドシート不使用死者数を減少させる必要がある。

各都道府県警察においては、第9次交通安全基本計画に掲げられた「平成27年までに交通事故死者数を3,000人以下とする」との目標を達成するため、総合的な交通死亡事故抑止対策を推進しているところであるが、シートベルトの着用及びチャイルドシート使用の徹底による被害軽減が交通死亡事故抑止に大きく寄与するものであることを改めて認識の上、下記の対策を推進されたい。

記

1 シートベルトの着用及びチャイルドシートの使用徹底対策

(1) すべての座席におけるシートベルト着用義務及び幼児のチャイルドシート使用義務の周知徹底

点数制度の対象となるか否かに関わらず、すべての座席においてシートベルトの着用義務が課せられていること、幼児を乗車させる場合にはチャイルドシートの使

用義務が課せられていることを改めて周知徹底すること。

(2) シートベルト及びチャイルドシートの必要性を理解させるための広報啓発・安全教育活動の強化

シートベルト及びチャイルドシートの被害軽減効果を理解させる広報啓発・安全教育活動を強化すること。

ア シートベルトについては、運転者や同乗者によるシートベルトの自発的な着用意識の醸成を促すこと。特に、後部座席乗員が非着用の場合の車外放出や前席乗員に与える傷害等の危険性を強調し、後部座席におけるシートベルトの被害軽減効果を理解させること。

イ チャイルドシートについては、正しい使用の徹底を図るため、

○ 乳児期を過ぎた幼児に対してもその体格に応じたチャイルドシートを確実に使用しなければ効果が減少すること

○ チャイルドシートの取付け及び着座時のミスユースの大半が腰ベルトやハーネスの締付け不足に起因していること

など、先の調査結果を踏まえた具体的かつ効果的な交通安全教育、取付講習会及び広報啓発活動を推進すること。

(3) 効果的な交通指導取締りの推進

高速道路等においては、後部座席を含めた全ての座席におけるシートベルト着用状況の実態分析を踏まえ、より効果的な指導取締りを推進するとともに、一般道においては交通指導取締り、検問等の際に後部座席同乗者に対する着用指導を徹底すること。

また、チャイルドシートについても、使用状況の実態分析を踏まえ、より効果的な指導取締りを推進すること。

なお、高速道路等における後部座席の座席ベルト装着義務違反の取締りを行うに当たっては、座席ベルトの備え付け義務のない自動車があることに留意されたい。

2 配意事項

(1) 効果的な交通安全教育、広報啓発活動の推進

ア 交通安全教育、広報啓発活動の実施に当たっては、衝突実験等の映像資料や車外放出事例等に関する資料を効果的に活用するほか、シートベルトコンビンサー等を活用した体験型の安全教育を積極的に開催し、可能な限り多くの人にシートベルト及びチャイルドシートの被害軽減効果を体感させること。

イ 衝突実験等の映像については、街頭テレビジョン、ケーブルテレビ、スポット放送等においても幅広く放映されるよう放送事業者等に働きかけること。

ウ タクシー乗り場、行楽地、高速道路のSA・PA等後部座席を利用する者や家族連れが多い場所において交通安全教育、広報啓発活動を行うなど、効果的かつ集中的な活動を実施すること。

エ チャイルドシートの使用推進に当たっては、地方公共団体等が主催する妊婦教室など、これからチャイルドシートを必要とする者が集まる場所で交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、その必要性や正しい使用方法について早い段階から理解させ、両親に子供の安全確保の意識付けをすること。

(2) 関係機関・団体等に対する働きかけの強化

広報啓発・安全教育活動を効果的に推進するため、地方公共団体や関係機関・団体との連携を強化するほか、全席シートベルト着用モデル事業所、チャイルドシート使用モデル幼稚園の指定等、職域、教育機関等における着用、使用機運の醸成を図るための積極的な働きかけを実施すること。

また、チャイルドシートの貸出・助成制度への支援要請も併せて実施すること。

※ 参考（最近制作・配布した映像資料）

- 「時速100kmの衝撃！～後部座席シートベルト非着用の危険性～」
平成20年 3月 企画：(財)全日本交通安全協会 監修：警察庁
- 「チャイルドシートで守ってね！ 子どもの安全は親の責任」
平成22年12月 企画：(財)全日本交通安全協会 監修：警察庁
- 「命を守る後部座席シートベルト！～被害者にも加害者にもならないために～」
平成24年10月 企画、制作：警察庁

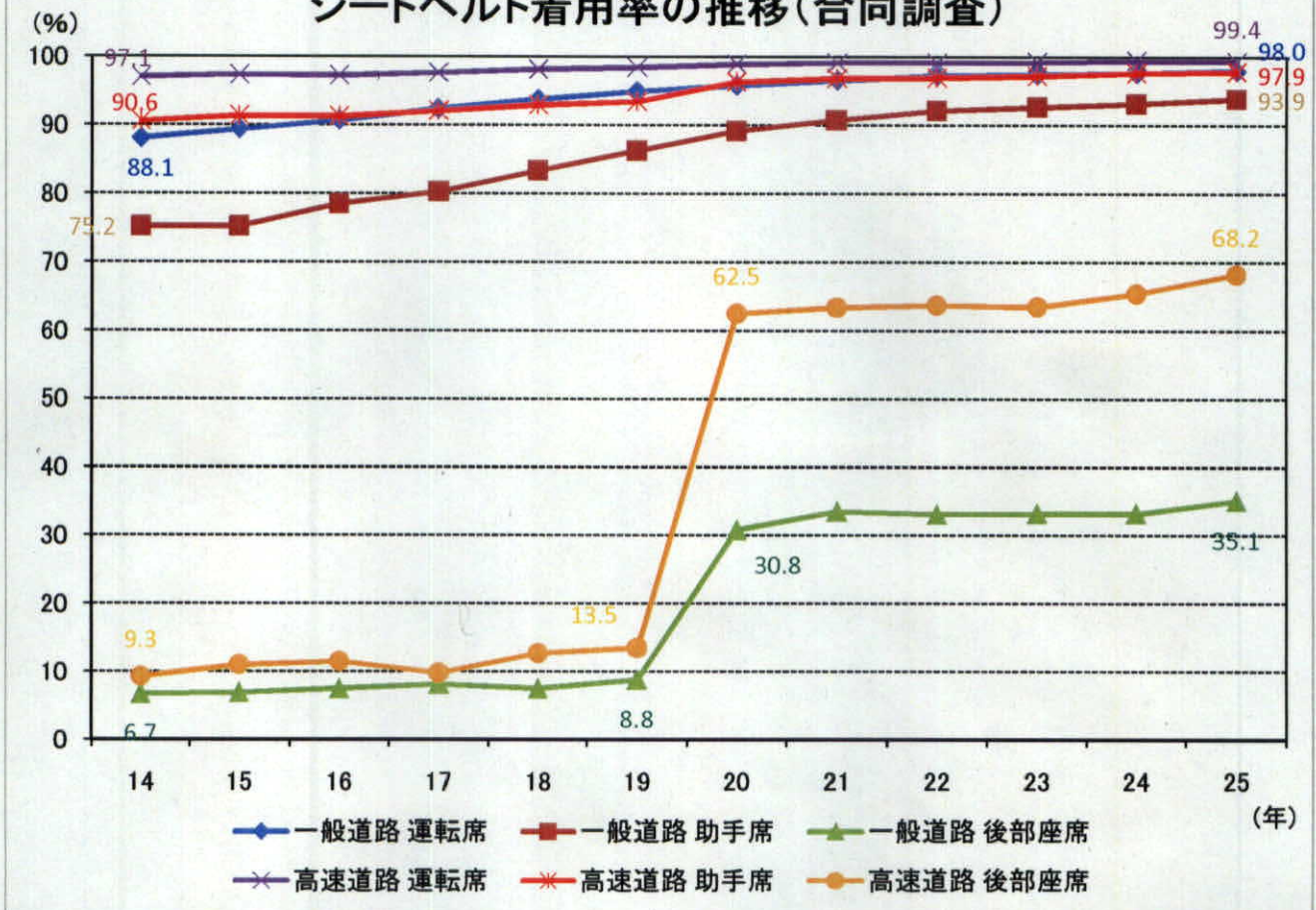
平成25年シートベルト着用率（一般道路）

管区	都道府県	運転席				助手席				後部座席			
		着用率	H24	前年比	順位	着用率	H24	前年比	順位	着用率	H24	前年比	順位
	北海道	96.8%	97.4%	-0.6	42	93.2%	93.8%	-0.6	32	40.6%	39.2%	+1.4	11
東 北	青森	98.8%	98.3%	+0.5	11	95.6%	95.5%	+0.1	14	19.3%	22.1%	-2.8	46
	岩手	99.5%	98.9%	+0.6	1	98.1%	97.7%	+0.4	2	45.0%	32.1%	+12.9	5
	宮城	98.7%	98.4%	+0.3	14	96.1%	97.1%	-1.0	11	23.2%	25.6%	-2.4	44
	秋田	99.5%	99.0%	+0.5	1	94.4%	95.9%	-1.5	22	35.6%	30.1%	+5.5	22
	山形	98.9%	98.2%	+0.7	8	96.8%	95.4%	+1.4	6	40.3%	39.8%	+0.5	13
	福島	98.7%	96.3%	+2.4	14	94.2%	82.0%	+12.2	23	44.8%	27.3%	+17.5	7
	東京	98.1%	98.9%	-0.8	23	92.5%	94.0%	-1.5	36	35.5%	33.8%	+1.7	24
関 東	茨城	96.3%	97.0%	-0.7	46	89.0%	90.4%	-1.4	46	30.7%	29.1%	+1.6	35
	栃木	97.9%	97.6%	+0.3	26	96.4%	92.9%	+3.5	9	46.1%	48.3%	-2.2	3
	群馬	98.4%	97.9%	+0.5	18	94.0%	96.2%	-2.2	25	49.7%	34.2%	+15.5	1
	埼玉	98.1%	97.9%	+0.2	23	93.9%	93.5%	+0.4	27	46.1%	36.4%	+9.7	3
	千葉	98.3%	98.4%	-0.1	21	96.4%	96.4%	+0.0	9	37.3%	50.5%	-13.2	18
	神奈川	98.5%	98.5%	+0.0	17	96.6%	95.3%	+1.3	7	31.1%	25.5%	+5.6	34
	新潟	97.9%	96.8%	+1.1	26	93.2%	93.8%	-0.6	32	38.4%	44.0%	-5.6	16
	山梨	97.9%	98.5%	-0.6	26	95.0%	95.9%	-0.9	15	31.4%	36.4%	-5.0	31
	長野	98.8%	98.3%	+0.5	11	91.5%	91.6%	-0.1	42	44.9%	38.5%	+6.4	6
	静岡	97.0%	97.1%	-0.1	39	93.4%	92.0%	+1.4	31	41.2%	37.9%	+3.3	10
中 部	富山	97.4%	96.9%	+0.5	36	93.6%	92.6%	+1.0	29	31.3%	26.7%	+4.6	32
	石川	97.9%	97.6%	+0.3	26	92.9%	91.6%	+1.3	34	26.4%	26.9%	-0.5	41
	福井	97.0%	97.2%	-0.2	39	93.6%	90.3%	+3.3	29	33.2%	29.6%	+3.6	28
	岐阜	97.3%	97.5%	-0.2	38	94.9%	91.7%	+3.2	17	32.1%	43.9%	-11.8	30
	愛知	97.4%	95.2%	+2.2	36	94.0%	90.0%	+4.0	25	43.4%	39.3%	+4.1	8
	三重	96.5%	95.6%	+0.9	44	90.6%	92.7%	-2.1	44	31.2%	33.9%	-2.7	33
近 畿	滋賀	97.5%	96.7%	+0.8	33	91.8%	91.1%	+0.7	41	43.3%	46.1%	-2.8	9
	京都	98.6%	98.3%	+0.3	16	94.2%	92.8%	+1.4	23	24.4%	24.0%	+0.4	42
	大阪	96.5%	96.6%	-0.1	44	88.1%	91.2%	-3.1	47	40.1%	41.7%	-1.6	14
	兵庫	97.8%	97.5%	+0.3	31	91.9%	90.8%	+1.1	40	36.9%	37.3%	-0.4	19
	奈良	99.1%	98.8%	+0.3	6	97.2%	94.8%	+2.4	4	33.3%	25.3%	+8.0	27
	和歌山	97.5%	97.1%	+0.4	33	92.0%	92.0%	+0.0	39	30.7%	31.7%	-1.0	35
中 国	鳥取	98.8%	98.8%	+0.0	11	97.2%	90.3%	+6.9	4	48.7%	30.9%	+17.8	2
	島根	99.2%	99.2%	+0.0	5	95.8%	94.2%	+1.6	12	32.3%	32.3%	+0.0	29
	岡山	97.5%	97.5%	+0.0	33	90.5%	91.5%	-1.0	45	38.6%	30.1%	+8.5	15
	広島	98.1%	98.3%	-0.2	23	92.8%	95.9%	-3.1	35	23.3%	21.8%	+1.5	43
	山口	99.3%	99.2%	+0.1	4	97.3%	96.6%	+0.7	3	35.6%	33.4%	+2.2	22
四 国	徳島	98.3%	97.5%	+0.8	21	94.6%	93.6%	+1.0	21	35.9%	39.0%	-3.1	21
	香川	95.8%	96.0%	-0.2	47	91.2%	86.7%	+4.5	43	30.2%	29.8%	+0.4	39
	愛媛	96.9%	96.1%	+0.8	41	92.3%	93.1%	-0.8	37	30.5%	26.3%	+4.2	37
	高知	97.9%	97.7%	+0.2	26	95.8%	93.0%	+2.8	12	37.9%	35.0%	+2.9	17
九 州	福岡	97.7%	97.7%	+0.0	32	93.8%	94.7%	-0.9	28	34.3%	37.1%	-2.8	25
	佐賀	98.9%	98.1%	+0.8	8	94.8%	94.1%	+0.7	19	19.3%	25.5%	-6.2	46
	長崎	99.4%	99.5%	-0.1	3	98.4%	97.3%	+1.1	1	36.4%	35.0%	+1.4	20
	熊本	98.9%	98.7%	+0.2	8	94.8%	93.2%	+1.6	19	40.5%	48.7%	-8.2	12
	大分	98.4%	98.7%	-0.3	18	96.6%	95.9%	+0.7	7	33.4%	25.3%	+8.1	26
	宮崎	99.1%	99.1%	+0.0	6	94.9%	91.8%	+3.1	17	27.4%	19.2%	+8.2	40
	鹿児島	98.4%	98.3%	+0.1	18	95.0%	94.0%	+1.0	15	30.4%	30.1%	+0.3	38
	沖縄	96.8%	96.4%	+0.4	42	92.1%	91.1%	+1.0	38	22.1%	11.0%	+11.1	45
	合 計	98.0%	97.7%	+0.3	-	93.9%	93.2%	+0.7	-	35.1%	33.2%	+1.9	-

平成25年シートベルト着用率（高速道路等）

管区	都道府県	運転席				助手席				後部座席			
		着用率	H24	前年比	順位	着用率	H24	前年比	順位	着用率	H24	前年比	順位
	北海道	99.8%	99.5%	+0.3	13	98.8%	98.3%	+0.5	14	69.7%	74.6%	-4.9	21
東 北	青森	99.9%	99.7%	+0.2	8	99.1%	99.8%	-0.7	10	68.0%	53.2%	+14.8	25
	岩手	100.0%	99.9%	+0.1	1	99.5%	98.2%	+1.3	5	81.6%	70.4%	+11.2	7
	宮城	100.0%	100.0%	+0.0	1	100.0%	100.0%	+0.0	1	68.6%	63.4%	+5.2	23
	秋田	100.0%	100.0%	+0.0	1	100.0%	100.0%	+0.0	1	92.0%	88.0%	+4.0	1
	山形	100.0%	99.8%	+0.2	1	100.0%	100.0%	+0.0	1	76.4%	82.8%	-6.4	12
	福島	99.7%	99.2%	+0.5	16	98.5%	98.1%	+0.4	19	91.2%	57.2%	+34.0	2
	東京	99.1%	99.9%	-0.8	36	98.3%	97.1%	+1.2	22	71.1%	66.2%	+4.9	19
東 関	茨城	99.8%	99.1%	+0.7	13	98.9%	96.3%	+2.6	13	72.0%	56.6%	+15.4	16
	栃木	99.7%	99.8%	-0.1	16	98.4%	97.7%	+0.7	20	65.9%	64.7%	+1.2	29
	群馬	99.6%	99.7%	-0.1	22	97.2%	98.6%	-1.4	33	69.3%	65.0%	+4.3	22
	埼玉	99.1%	99.6%	-0.5	36	96.1%	97.7%	-1.6	42	74.3%	53.1%	+21.2	13
	千葉	99.4%	99.4%	+0.0	32	98.4%	98.0%	+0.4	20	87.1%	86.3%	+0.8	3
	神奈川	99.0%	99.5%	-0.5	38	96.7%	96.6%	+0.1	38	61.7%	47.7%	+14.0	36
	新潟	100.0%	99.6%	+0.4	1	98.7%	99.0%	-0.3	16	71.7%	63.4%	+8.3	18
	山梨	99.6%	99.3%	+0.3	22	98.1%	97.7%	+0.4	26	48.8%	49.6%	-0.8	44
	長野	99.9%	99.5%	+0.4	8	99.2%	99.5%	-0.3	8	73.0%	74.3%	-1.3	15
	静岡	98.8%	99.7%	-0.9	41	97.0%	98.4%	-1.4	36	61.9%	62.2%	-0.3	35
中 部	富山	99.5%	99.3%	+0.2	28	97.2%	97.9%	-0.7	33	49.8%	82.4%	-32.6	43
	石川	99.6%	99.8%	-0.2	22	98.3%	96.3%	+2.0	22	80.8%	59.6%	+21.2	9
	福井	98.7%	99.3%	-0.6	42	97.2%	98.5%	-1.3	33	52.8%	50.8%	+2.0	42
	岐阜	98.6%	99.0%	-0.4	43	95.6%	97.5%	-1.9	44	57.6%	46.4%	+11.2	39
	愛知	99.5%	99.1%	+0.4	28	99.2%	98.4%	+0.8	8	62.0%	59.9%	+2.1	33
	三重	97.9%	99.1%	-1.2	46	92.2%	93.4%	-1.2	47	63.9%	56.4%	+7.5	31
近 畿	滋賀	99.7%	99.5%	+0.2	16	96.9%	96.6%	+0.3	37	80.8%	75.6%	+5.2	9
	京都	99.5%	99.5%	+0.0	28	98.0%	97.8%	+0.2	28	55.1%	68.3%	-13.2	41
	大阪	98.6%	98.9%	-0.3	43	98.1%	96.0%	+2.1	26	81.1%	84.6%	-3.5	8
	兵庫	98.3%	99.3%	-1.0	45	92.6%	95.3%	-2.7	46	47.4%	60.0%	-12.6	46
	奈良	99.5%	99.2%	+0.3	28	99.3%	98.0%	+1.3	7	62.0%	60.4%	+1.6	33
	和歌山	99.7%	99.5%	+0.2	16	98.2%	97.6%	+0.6	25	82.4%	77.6%	+4.8	6
中 国	鳥取	99.0%	99.6%	-0.6	38	98.6%	96.2%	+2.4	17	66.8%	62.8%	+4.0	27
	島根	99.9%	99.9%	+0.0	8	98.6%	97.0%	+1.6	17	70.8%	67.6%	+3.2	20
	岡山	99.6%	99.6%	+0.0	22	96.3%	98.8%	-2.5	40	73.6%	70.4%	+3.2	14
	広島	100.0%	99.8%	+0.2	1	96.1%	97.0%	-0.9	42	60.8%	64.6%	-3.8	38
	山口	100.0%	99.9%	+0.1	1	99.1%	99.8%	-0.7	10	64.8%	77.6%	-12.8	30
四 国	徳島	99.3%	99.5%	-0.2	33	97.5%	98.9%	-1.4	31	68.4%	53.2%	+15.2	24
	香川	98.9%	99.8%	-0.9	40	96.2%	98.0%	-1.8	41	72.0%	85.6%	-13.6	16
	愛媛	99.2%	99.3%	-0.1	35	98.3%	95.8%	+2.5	22	55.2%	59.6%	-4.4	40
	高知	99.6%	99.1%	+0.5	22	97.8%	97.2%	+0.6	29	85.3%	70.0%	+15.3	4
九 州	福岡	99.9%	99.3%	+0.6	8	99.4%	98.4%	+1.0	6	83.9%	79.1%	+4.8	5
	佐賀	99.7%	99.6%	+0.1	16	96.7%	95.4%	+1.3	38	66.0%	49.2%	+16.8	28
	長崎	99.8%	100.0%	-0.2	13	98.8%	100.0%	-1.2	14	63.2%	88.8%	-25.6	32
	熊本	99.7%	99.9%	-0.2	16	97.8%	96.2%	+1.6	29	67.6%	64.8%	+2.8	26
	大分	99.6%	99.9%	-0.3	22	99.1%	98.2%	+0.9	10	78.0%	75.2%	+2.8	11
	宮崎	99.9%	100.0%	-0.1	8	97.4%	98.7%	-1.3	32	61.2%	50.0%	+11.2	37
	鹿児島	99.3%	99.9%	-0.6	33	99.7%	98.4%	+1.3	4	47.6%	56.0%	-8.4	45
	沖縄	97.6%	98.0%	-0.4	47	94.8%	94.9%	-0.1	45	32.4%	31.6%	+0.8	47
	合計	99.4%	99.5%	-0.1	—	97.9%	97.7%	+0.2	—	68.2%	65.4%	+2.8	—

シートベルト着用率の推移(合同調査)



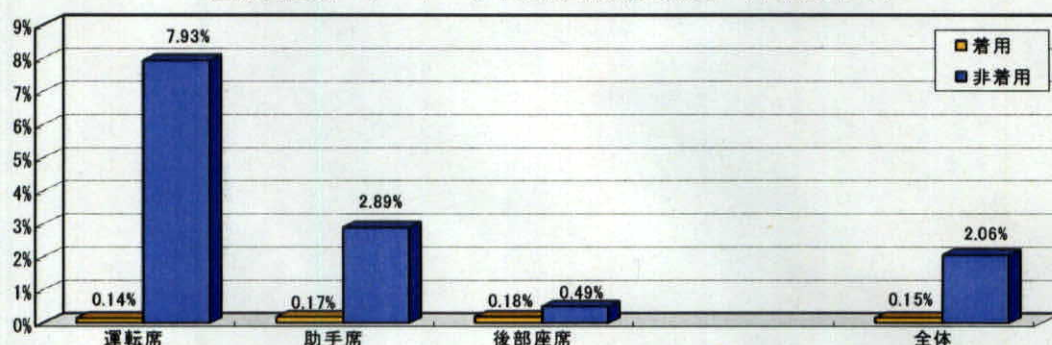
		14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
一般道路	運転席	88.1	89.4	90.7	92.4	93.8	95.0	95.9	96.6	97.3	97.5	97.7	98.0
	助手席	75.2	75.2	78.5	80.3	83.4	86.3	89.2	90.8	92.2	92.7	93.2	93.9
	後部座席	6.7	6.9	7.5	8.1	7.5	8.8	30.8	33.5	33.1	33.2	33.2	35.1
高速道路	運転席	97.1	97.4	97.3	97.7	98.2	98.5	99.0	99.2	99.2	99.3	99.5	99.4
	助手席	90.6	91.4	91.3	92.1	93.0	93.5	96.4	96.9	97.0	97.3	97.7	97.9
	後部座席	9.3	11.0	11.5	9.8	12.7	13.5	62.5	63.4	63.7	63.5	65.4	68.2

座席位置別・シートベルト着用有無別致死率等に関する統計

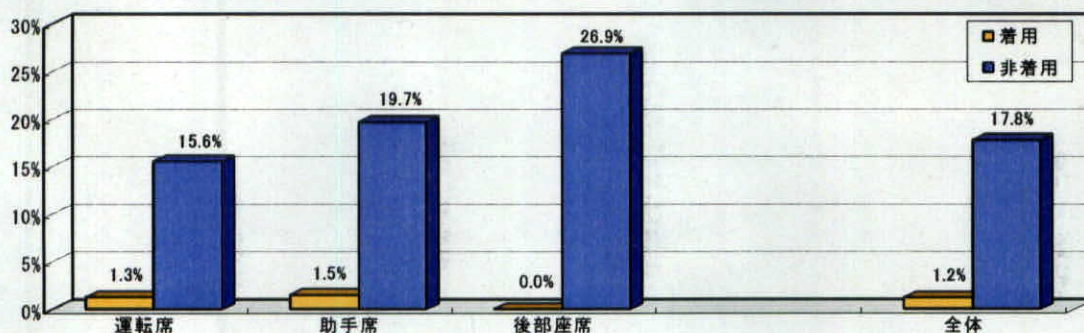
自動車乗車中のシートベルト（チャイルドシートを含む。）着用有無別の致死率をみると、非着用者の致死率は着用者の0.15%に対して約14倍の2.06%となっており、これを座席位置別にみると、運転席：56.2倍、助手席：16.6倍、後部座席：2.7倍となっている。

自動車乗車中で車外放出（自動車乗車中の者が車内から車外へ放出された状態）になった場合の致死率は、自動車乗車中全体が0.27%であるのに対して約140.9倍の38.04%である。自動車乗車中死者のうち、シートベルト非着用者が車外放出になった割合は、着用者の1.2%に対して14.8倍の17.8%であり、シートベルトの着用によって車外に放出される危険性が低くなる。また、シートベルト非着用者が車外放出になった場合の致死率は、シートベルト着用者の致死率が18.0%であるのに対し約2.4倍の42.86%であり、シートベルト着用によって車外放出になった場合でも被害程度が軽減されることを示している。

座席位置別・シートベルト着用有無別致死率（平成24年中）



座席位置別・シートベルト着用有無別死者の車外放出構成率（平成24年中）



○ 座席位置別・シートベルト着用有無別死傷者数（平成24年中）

座席位置別	着用有無別		死者数				死傷者数						
	着用	致死率	非着用	致死率	不明	計	致死率	着用／非着用	着用	着用者率	非着用	不明	計
運転席	549	0.14	443	7.93	35	1,027	0.26	56.2	389,488	98.2	5,588	1,550	396,626
車外放出	7	21.88	69	58.97	3	79	48.17	2.7	32	19.5	117	15	164
車外放出構成率	1.3	—	15.6	—	8.6	7.7	—	—	0.0	—	2.1	1.0	0.0
助手席	131	0.17	66	2.89	5	202	0.26	16.6	75,288	96.7	2,283	275	77,846
車外放出	2	28.57	13	48.15	1	16	45.71	1.7	7	20.0	27	1	35
車外放出構成率	1.5	—	19.7	—	20.0	7.9	—	—	0.0	—	1.2	0.4	0.0
後部座席	63	0.18	104	0.49	3	170	0.30	2.7	34,388	60.8	21,132	1,049	56,569
車外放出	0	0.00	28	28.87	0	28	25.69	—	11	10.1	97	1	109
車外放出構成率	0.0	—	26.9	—	0.0	16.5	—	—	0.0	—	0.5	0.1	0.2
その他	1	0.31	10	0.78	7	18	1.06	2.5	322	19.0	1,278	96	1,696
車外放出	0	—	1	5.56	0	1	5.56	—	0	0.0	18	0	18
車外放出構成率	0.0	—	10.0	—	0.0	5.6	—	—	0.0	—	1.4	0.0	1.1
計	744	0.15	623	2.06	50	1,417	0.27	13.8	499,486	93.8	30,281	2,970	532,737
車外放出	9	18.00	111	42.86	4	124	38.04	2.4	50	15.3	259	17	326
車外放出構成率	1.2	—	17.8	—	8.0	8.8	—	—	0.0	—	0.9	0.6	0.1

注1 シートベルト着用の有無については、事故後の聞き取り調査等による結果を基に集計したものである。

2 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

3 致死率＝死者数÷死傷者数×100

4 着用者率＝着用死傷者数÷死傷者数×100

5 車外放出構成率＝車外放出死（傷）者数÷死（傷）者数×100